

## 大平地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年11月20日（水）午後1時30分～2時00分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 14名

事例提供者1名、助言者7名、サービス事業者3名

包括職員2名、傍聴者1名

## 生活意欲低下が見られる71歳女性

〈目標〉1日:自宅で家事、運動を行う。

1年:生活環境を整えて、身体機能が維持できる。

利用サービス:通所リハビリテーション、訪問型サービス、福祉用具貸与

### 《生活全般の解決すべき課題》

- ・ 夫の逝去後に生活への意欲低下があり、精神的に不安定な様子が見られる。また、腰痛及び下肢痛の影響により身体機能が低下しており、日常生活動作に困難が生じている。

### 《助言者からの助言内容》

- ・ 根気強く精神的なアプローチを行う必要がある。スマートフォンやパソコンなどを活用した趣味活動を勧める。
- ・ 総義歯であることから、義歯の状態を把握するためにも歯科受診を行い、口腔内の状態を確認する。
- ・ 糖尿病の疾患があることから、歯周病を発症しやすいため注意が必要であり、口腔内の筋力低下を防ぐためにも舌回しなどの運動を提案すると良い。
- ・ 糖尿病や骨粗鬆症の悪化により生活への影響が考えられるため、生活意欲が向上するようなアプローチが必要である。
- ・ 人間関係や環境面での整理を行い精神面が安定した後に、興味関心があることにアプローチする。
- ・ 本人だけでなく、買い物支援を行っている家族にも糖尿病悪化を防ぐためのアドバイスをする。
- ・ 自宅で本人の話を傾聴ボランティアに聞いてもらうのも良い。信頼関係が築けた後には、傾聴ボランティアが参加しているオレンジカフェへ誘うなど、外出の機会を増やすと良い。



**外出の機会や社会との関わりを増やし、生活意欲向上につながるよう支援する。**

### ☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・ 生活意欲を向上させるためにも、安心して過ごせるような場所や仲間を作る必要がある。